

中小企業の中国進出手助け

中国進出を検討しているものの、何から手をつければいいのか分からない中小企業と、中国でのビジネスに詳しいコンサルティンク会社とを無料で仲介するインターネットサイトを、オフィス内装の企画、設計、デザインや各種工事を手掛けるMACオフィス（大阪市中央区）が、10月下旬に本格オープンする。池野衛社長（40）は「中国は独特の商慣習がある。ささいなQ&Aや事例でも利用でき、中小企業が多いのコンサル会社を比較検討できるサイトにした」と意気込む。

MACオフィスも数年前から中国で現地法人の設立を検討しているが、多くの

コンサル会社無料仲介

中国進出を検討する中小企業がコンサルティンク会社を比較、検討できる「中国進出ナビ」の画面（南昇平撮影）



MACオフィス、来月サイト本格化

疑問点について、どこに助言を求めたらいいのか悩んだという。「大手企業なら銀行や弁護士事務所を頼めるが中小はそうはいかず、コンサル会社のサイトだけでは実情は分からない」

（池野氏）として、4月にコンサル会社を検索できるサイト「中国進出ナビ」を試行的に始めた。

トップページでは「会社・工場を設立したい」「不動産賃貸物件を探したい」

などの要望や、上海、北京などの進出希望地域からコンサル会社を検索可能。サイトを通じコンサル会社に質問でき、仲介料は無料。費用や契約についても2者間の話し合いになる。

池野氏によると、中国進出に関するコンサル会社の一覧を掲載するサイトはあるものの、企業側の要望や事例ごとに適したコンサルを検索できるのは初めてという。現在は、中国での日系企業の営業支援で実績のあるソフトウェアなどコンサル約40社を登録中だが、正式オープン後は200社程度に増やしたい考えだ。

サイトの監修は日中で会計事務所を展開するマイツグループの池田博義氏が担当。池野氏は「将来的にはベトナム版、インド版も開設したい」と話している。